

熊本市長

幸山 政史 様

# 要 望 書

熊本合同庁舎移転後の跡地利用を契機とした  
桜の馬場地区整備事業の促進について

平成25年12月6日

熊 本 商 工 会 議 所  
株 式 会 社 ま ち づ ぐ り 熊 本  
熊 本 城 桜 の 馬 場 リ テ ー ル 株 式 会 社  
熊 本 城 観 光 交 流 サ ー ビ ス 株 式 会 社

熊本市議会

議長 齊藤 聡 様

# 要 望 書

熊本合同庁舎移転後の跡地利用を契機とした  
桜の馬場地区整備事業の促進について

平成25年12月6日

熊 本 商 工 会 議 所  
株 式 会 社 ま ち づ ぐ り 熊 本  
熊 本 城 桜 の 馬 場 リ テ ー ル 株 式 会 社  
熊 本 城 観 光 交 流 サ ー ビ ス 株 式 会 社

熊本市におかれましては、平成9年に「熊本城復元整備計画」を策定され、「熊本市に城下町としての歴史や風格を醸しだし、更には潤いを創出する」ために、30年から50年後までを見据えた遠大なる整備事業を着実に進めていただいていることに敬意を表するものであり、その完成の暁には「熊本の宝」として、熊本城を全世界に向けて発信できるものと確信しています。

この計画において、桜の馬場地区は、熊本城へのエントランスゾーンとして位置づけられ、短期計画では、地域交通のターミナルとして、駐車場、巡回バスの発着場等を整備し、観光客を対象にしたサービス機能の充実を図ることになっています。

また、平成20年5月に市が策定された「桜の馬場整備基本計画」では、コンセプトを「城の駅」と表現し、城の中の情報、県産品、人の交流の中継拠点として位置づけられています。

この基本計画に基づき、平成23年には桜の馬場 城彩苑が開業しましたが、苑内の駐車スペースは限られ、とりわけ観光バスの駐車台数が絶対的に少ないことから、期待された県外観光客の集客に苦戦を余儀なくされています。

また、当駐車場の整備は、熊本城の観光客を桜町・花畑地区を経て中心部に回遊させるという極めて重要な役割を担うものであります。

したがって、この状況を早期に改善し、観光客の滞在時間の増大を図るためには、熊本合同庁舎移転後の跡地を活用した観光バス駐車場等の整備促進により、桜の馬場地区の拠点性を高めることが不可欠です。

つきましては、熊本城復元整備計画に基づき、来年10月に移転する熊本合同庁舎移転跡地の用地を速やかに確保され、中心市街地活性化及び熊本経済振興の観点から桜の馬場地区整備の着実かつ迅速なる実現をお願い致します。

平成25年12月6日

熊本商工会議所  
会頭 田川 憲生

株式会社まちづくり熊本  
代表取締役 丸本 文紀

熊本城桜の馬場リテール株式会社  
代表取締役 丸本 文紀

熊本城観光交流サービス株式会社  
代表取締役 江 寄 純 生